

平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会社名 株式会社新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 大阪府内の病院を対象不動産とするノンリコースローンの実施について

当行は、ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社(東京都港区、代表取締役社長 村山 浩)が無限責任組合員を務める投資ファンドが出資する合同会社に対して、大阪府内の総合病院を対象不動産とするノンリコースローンを株式会社日本政策投資銀行(東京都千代田区、代表取締役社長 渡辺 一)と協調して実施しましたので、お知らせいたします。

当行は、平成 16 年から有料老人ホームおよびサービス付き高齢者住宅に対する不動産ノンリコースローンへの取り組みを開始、平成 22 年に介護・医療業界への融資等を専門的に手掛けるヘルスケアファイナンス部を創設して以来、アセットファイナンス、M&A のアドバイザーから医療法人・介護事業者へのコーポレートファイナンスに至るまで、多岐多様な取り組みを行っており、有料老人ホームおよびサービス付き高齢者向け住宅を対象とするファイナンスについて 1,000 億円以上の貸出実績を有しています。本件「病院不動産」を対象とするノンリコースローンは、当行として初めての実施であり、銀行業界における先進的な取り組みです。

病院不動産を対象としたノンリコースローンは、病院を運営する医療法人等のコーポレトリスクとストラクチャリングリスクの双方について高度な分析力を要することから、国内での取り組みはいまだに少ない状況です。一方、病院を運営する医療法人等の資金調達ニーズは、今後の病床機能分化に対応するための機能強化や効率性向上等に伴う設備投資、老朽化病院の建て替え需要、事業承継や M&A を背景に、ますます拡大することが見込まれており、病院不動産の流動化は、従来のデット・ファイナンスを中心とした資金調達に加えて、医療法人等にとっての新たな調達手段として今後の普及が期待されています。また、病院不動産の含み益の実現化や買収先の病院資産の流動化による少ない手元資金での M&A、さらにファンド等不動産のプロフェッショナルによる低コストでの病院の新築や建て替えを可能にする手段としても、有効なファイナンス手法といえます。

当行は、ヘルスケアファイナンスにおける十数年に及ぶ取り組み実績、高度なリスク分析力、ストラクチャリング能力等の専門性と知見を活かし、引き続き病院不動産を含むヘルスケア施設に対する不動産ノンリコースファイナンスの組成などに積極的に取り組むことで、超高齢社会に対応するための介護・医療施設の供給促進、ひいては地域医療の発展に貢献してまいります。

### 【プロジェクトの概要】

対象不動産 : 大阪府内の総合病院  
出資者 : トリニティヘルスケアⅡ投資事業有限責任組合  
貸付人 : 株式会社新生銀行、株式会社日本政策投資銀行  
実行日 : 平成 30 年 10 月 25 日  
実行金額 : 総額約 25 億円

### 【投資ファンドの概要】

ファンド名 : トリニティヘルスケアⅡ投資事業有限責任組合  
ファンド総額 : 250 億円  
組成日 : 平成 28 年 11 月  
投資事業概要 : 医療・介護分野に特化した国内で最大規模の投資ファンド。病院や高齢者施設を対象にファイナンスを提供、不動産流動化等も手掛けている。  
無限責任組合員 : ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社  
有限責任組合員 : 三菱 UFJ リース株式会社、株式会社日本政策投資銀行

以 上